

## 訪問看護ステーションは～とふる多摩センター 『新しい生活様式』との向き合い方

『新型コロナウイルス』に対するの緊急事態宣言がストップされ、東京都内でも警戒が徐々に緩められています。しかし、今でも毎日新しい感染者が出ています。私たちはこれからも危険を避けて生活をしなければなりません。厚生労働省からも『新しい生活様式』として、感染症に気をつけながらの暮らし方が提案されていますが、訪問看護の場合、皆さまのお身体に触れさせていただくためにご協力いただきたいこともあります。以下、繰り返しのお願ひも多くありますがよろしくお願ひいたします。

### は～とふる全スタッフの取り組み

- 勤務時の検温により、体調管理を徹底しています。
- 体調がすぐれない時、体温が 37.5℃以上ある時は出勤を控えさせます。
- 行政や保健所の指導を仰ぎ、『新しい生活様式』を守ります。

### ご利用者の皆さまへのお願ひ

- 社会的（身体的）距離を重んじますが、ケアの時にはお近くに寄らせてください。
- 看護師の手指洗淨のために水道の使用をお願いさせていただくことがあります。
- マスク越しの看護師の声が聴きづらかったらお申しつけください。
- 体調がすぐれない時、37.5℃以上の発熱があった場合はお知らせください。
- 皆さまや別の体調の悪い方をお守りするため。時間短縮、ケア内容、担当者の変更などをお願いすることがあります。
- 状況により、看護師が感染症対策用の身なりをすることがあります。

### もし感染の疑いがある場合は

- 利用者の皆さま、あるいは当ステーションの職員に感染の疑いまたは濃厚接触の覚えがある場合には、保健所の指導に誠実に従います。
- その際、関係者の個人情報およびプライバシーは固く守ります。

**心配や不安な気持ちをお聞かせください**

このたびの感染症対策については長期戦が予想されます。このような事態においては、不安や疲れやすさなど心身に不調をきたす人が増えるといわれています。また、連日の報道では、感染症に関する不安なニュースばかりが報じられ、気分も落ち込みがちです。少しでも気になることがあればご家族、医師、看護師、ケアマネジャー、ヘルパーほか関係者にしっかりと、今の正直なお気持ちをお聞かせください。心を合わせて、この困難を健康に、そして元気に乗り越えましょう。

**皆さまのご協力をよろしくお願いいたします(再掲)**

テレビや新聞などの報道でもいわれている通り、この『新型コロナウイルス』は、「ご高齢者」や「もともとご病気を抱えていらっしゃる方」にとっては特に注意が必要な感染症です。

だからこそ、医療者による健康観察はいつも以上に大切になっていきます。『は～とふる多摩センター』の看護師も、医師やヘルパーなどすべてのケア職の方々と同様に、全力で感染症予防に努め、『いつもと変わらない、当たり前』の訪問看護サービスが正しくお届けできるよう尽力いたします。

皆さまのご協力をお願いいたします。

2020年6月19日

訪問看護ステーションは～とふる多摩センター  
スタッフ一同

すべての大切な皆さまへ